

# 歩ある 国立

KUNITACHI・ARUKI



vol.12  
2010年秋号

TAKE  
FREE

特集:ご縁でつながる くにたち結び  
国立 is the place for me

国立ゆかりのアーティスト  
ニャン太のくにたち 東へ西へ  
みどころマップ Kunitachi Times



いい湯だなァ〜 イイ絵だなァ♪

なにッ、浮世の垢を落として生まれ変わりたい?  
そりゃ、天然水でつるんと、磨いていきなせえ。

— 松の湯(富士見通り西)にて (国立の銭湯は井戸水を使用しています)

※いずれも有効期限は、2010年12月末日まで

「国立歩記」vol.12 掲載店より、読者の皆様へプレゼント!

SPECIAL PRESENT



オルトラーナ 様より  
500円分のお食事券  
×5名様



ヒロセオーター 様より  
ネクタイ  
×5名様



バンブー 様より  
500円分のお買い物券  
×5名様

※店内の商品すべてにお使いいただけます。



玲音香琲 様より  
季節のブレンド  
(アビーロードブレンド)  
100g×5名様



ピツゼット 様より  
500円分の  
ディナーお食事券  
×5名様

※店内の商品すべてにお使いいただけます。



とれたの 様より  
国立産ハチミツ  
(赤・130g)  
×3名様

「国立歩記を見た」と言って  
いただいた方に素敵なプレゼント!



韓国家庭料理  
たんぼ様より

4人グループなら「石焼ビビンバ」  
8人グループなら「ブルコギ」を  
サービス!

**[プレゼント応募要項]** はがきに、①ご希望のプレゼント名と応募の理由(伝助さんQUIZはその答)②住所・氏名・電話番号・職業・年代を明記の上、③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。[宛先]〒190-0011 東京都立川市高松町3-14-13(株)ビックス気付 国立歩記編集部「プレゼント」係[締切日]2010年11月15日(月)当日消印有効※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。③のご感想等は、本誌に掲載することがございます。

11号のプレゼントは国立市中のK・S様他19名の方にお送りしました。  
たくさんのご応募ありがとうございました。

伝助さんの QUIZ でプレゼント!

アートな国立には歴史を感じさせるスポットもたくさん。

それでは、この中でもっとも歴史の古いできことはどれだかわかりますか?

① 国立駅の開業 ② 一橋大学兼松講堂の竣工 ③ せきや創業

抽選で3名様に「国立ボージョレ・ヌーヴォー2010」をプレゼント!

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

information website & twitter

ウェブサイトからもプレゼント応募可能!

<http://kunitachiaruki.jp/present>



ウェブからのプレゼント応募は、パソコンなら上URLを、携帯なら左QRコードをどうぞ(一部の携帯は未対応)。QRコードはデンソーウェブの登録商標です。

ツイッターをはじめました。follow me!

<http://twitter.com/kunitachiaruki>

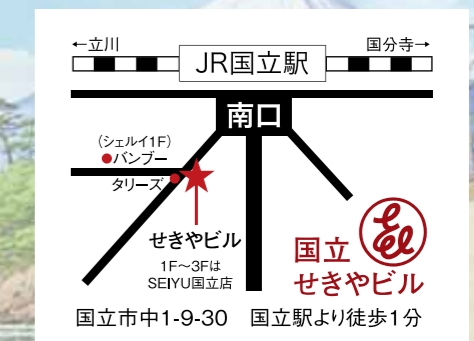
ツイッターに対応しました。アカウントは「kunitachiaruki」。どんどんフォローしてね!

おかげさまで8周年 せきやビル FLOORGUIDE

FLOOR	NAME	TEL	OPEN / CLOSE
7F	多目的ホール せきやホール	042-576-7728	受付 平日10:00-17:00 (利用月日 9:00-21:00)
	国立楽器 国立音楽センター	042-576-1213	月-土10:00-21:00(日祝休)
6F	オープンスクール NHK 学園	042-574-0570	月-金 9:30-17:30 土日10:00-15:00(祝休)
5F	フィットネス&スパ ヴィラックス国立	042-580-4538	月-水金10:00-23:00 / 土10:00-21:00 日祝10:00-20:00(木休)
4F	塚田農場 国立店	042-580-4502	11:30-14:30 17:00-23:00(年中無休)
	ゆであげ生スバケティ ポポラマーマ	042-571-4890	11:00-22:30(年中無休)
	エステサロン さくら	042-572-3000	10:00-20:00(月休)
	幼児教室 ジャック国立教室	042-573-6880	9:30-18:30(年中無休)
3 2 1F	SEIYU 国立店	042-576-2401	24H営業(年中無休)
1 B1F	SAKE-BOUQUET SEKIYA	042-571-0001	[1F]10:00-21:30(年中無休) [B1F]11:00-20:00(年中無休)
	トラットリア カルメン	042-501-9245	11:30-23:00(不定休)
B1F	オリーブオイルと ワインのはかり売り	042-572-4741	11:00-20:00(年中無休)

第二せきやビル&シェ・ルイ

タリーズコーヒー 国立店	042-501-0336	月-土 8:00-22:00 日 8:00-20:00(定休日なし)
ブランジェリーカフェ バンブー	042-577-5168	火-日10:00-19:00(月休)



歩ある 国立

vol.12 TAKE  
FREE

2010年秋号

2010年10月15日発行  
(季刊年4回・無料)

印刷・発行/  
株式会社ビックス  
〒190-0011 東京都  
立川市高松町3-14-13

KUNITACHI・ARUKI

企画・制作 国立歩記 編集部  
Logo Design 関 敏(石の彫刻家)  
Editor&Writer 田中えり子  
松本 陽 (有サイコム)  
細田真吾 (株ビックス)  
鈴木三和 菱沼勇介 渋谷祐輔  
Design 国立圖案室+坂東真奈  
表紙撮影 小林未央

<http://kunitachiaruki.jp>



北区商店会「ワイワイ祭2009」にて。「古道具レットエムイン」のオーナーのオフアを受けて実現したシークレットライブ共演(写真提供:古道具レットエムイン)



『ライブ(復活中!)』ピラニアズ(前田さんのバンド) 11月24日には新譜「スーパーボルケーノ」(定価2,500円)が発売予定。http://www.suzakmusik.com/piranhans/(左) 『GOLDEN MELODY』今野英明 ウクレレとヴォーカル主体のカヴァー集。定価2,500円。http://konno-hideaki.com/(右)

一方前田さんは、誰にもなつかしいあのピアノカ、世界でただ一人演奏できるのがいいでしょ」

### ピアノ奏者 ピアノ前田さん ウクレレ歌手 今野英明さん

国立を第二の故郷とする二人のミュージシャンがいる。ピアノ前田さんと今野英明さん。二人はプロになる前から、20年以上離れることなくこのまちで暮らす。市内のバーや喫茶店に憩い、地元イベントなどに出演することも。



国立駅舎のイラストをあしらった「国立 is the place for me」のドーナツ盤(avex trax)。同曲はアルバム「ぼくにできること」に収録。

国立は、アーティストと聴衆が喜びをわかち合う、そんな風景がよく似合うまちなのだ。



●FUKUSUKE P5-6/MAP2  
こだまさんの取材に使わせていただいたのはこちら。お店の片隅で、時折ライブもはじける。国立市東1-15-22国立サニービル3F [TEL]042-575-0445 [OPEN]19:00~26:00[定休日]木曜

福井から上京し、30年前に暮らした国立。当時、若いミュージシャンたちが住み、忌野清志郎もよく訪れたという伝説の「澤登農園のアパート」。そこで出会ったのがピアノ前田さんだ。「金を借りあったり、ライブを手伝ったり。家族で

この4月には『空をあおいで』という本を上梓。自らを「アウトサイダー」というけれど、社会の隅々をとらえるその文章、人への優しい眼差しに満ちている。

### タブ・トランペッター こだま和文さん

今野さんの最初のCDをプロデュースしたのが、こだま和文さん。レゲエのなかにタブというジャンルがある。エンジニアたちがレゲエの骨格だけを活かしリズムで遊んでいた。それをライブ



『more』Kodama and the Dub Station Band タイトルの映画音楽やオリジナル「キエフの空」など13曲収録。定価3,360円。DVDつき。(左) 『空をあおいで』文芸誌「すばる」(集英社)で連載中のコラムなどをまとめたエッセイ。定価1,890円。K&Bパブリッシャーズ刊。(右)

でやろうとしたのが日本初のタブバンド「MUTE BEAT」。90年に解散後、メンバーのこだまさんはソロとして活躍し、海外の多くのミュージシャンとも共演してきた。

もなく、仲の良い友だちというものもない。でも長く離れていても相手のことがなんとなくわかる、国立はそういうところかな」

ご縁でつながる くにたち結び 《其三》

# 国立 is the place for me



左から 今野英明さん(ウクレレ歌手)、大橋幹生さん(「奏」オーナー)、ピアノ前田さん(ピアノ奏者)

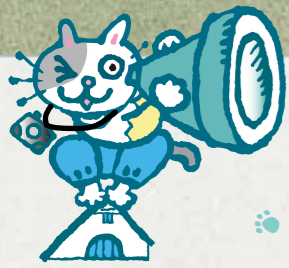
●撮影:坂東真奈

### ライブ演奏の聴こえる夜

その昔、国立音大がとなり町に移転する前にはピアノ可、という下宿屋がたくさんあったそうだ。音楽の似合う街に いつのまにか音楽好きが集まっていろんなサウンドが 季節を熱くする。今もつながる音楽家たちの軌跡 愉快で優しくてHappyな 秋の宵に乾杯!



●音楽茶屋 奏 P5-6/MAP1  
ジャズやクラシック、さまざまなジャンルを越えて大人が楽しめる音楽ライブは月に2~3回。チャージはないが、演奏者へのカンパとオーダーで。ピザや自家製ポテトサラダなど、美味しいメニューもたくさん。国立市東1-7-20 B1 [TEL]042-574-1569 [OPEN]17:00~25:00[定休日]火曜



# ニャン太のくにたち vol.3 東へ西へ

## 富士見通りの終点は郵便局の学校だった

今日のニャン太は近所の郵便局に来ています。「美味しい秋鮭が手に入ったから、きなこさんに送ろうっと。あれ、いつも窓口にいる可愛いあの娘(コ)はどこ?」「今日は富士見通りの突き当たりにある中央郵政研修センターに研修を受けに行ってるんだよ」と局長さん。そんなところが国立に? さっそくニャン太は所長の宮田弘志さんを紹介してもらった。

宮「ここ、中央郵政研修センターは、その名のとおり郵政事業に携わる社員が研修を受ける場所なんです。ずいぶん広い敷地だなー。宮「多いときは1日2千人以上、年間のべ17万人の研修生を受け入れますから。関東エリアを中心に、研修内容によっては全国から研修生が集まります。集団生活も研修の一環ということで、原則、敷地内の寮に宿泊しながらの研修です」

それなにか勉強することがあるの? 宮「まず、ひとことに『郵政事業』と言っても、郵便、貯金、保険の3事業があります。また、郵政グループ各社ごとに新人社員研修が必要で、管理社員にはマネジメントの講義も。金融関係では制度改正が頻りにあつて、そのたびに研修が必要になりますね。郵便局を再現した教室もあつて、実践的な勉強もします。そうそう、テストで80点以上取れないと追試になるんです」

それはキビシイニヤ。 敷地内には、全国的にも珍しい鉄道郵便車や美しい桜並木もある。国立の隠れた名所を発見したニヤ。

### 中央郵政研修センター

P06/MAP・8



(左上)西2丁目にある中央郵政研修センターの敷地面積は7万6千㎡(東京ドームの1.5倍)。(右上)正門を入ると日本郵便の父、前島密(まえじま・ひそか)翁の立像が迎えてくれる。明治4年、密の発議によって東京・京都・大阪を結ぶ郵便事業が創始された。(左下)たくさんある教室の一室。今日は「保険制度改正に伴う契約システムの変更」なる講義。研修生はみな真剣に端末に向っている。(右下)正門脇には昭和60年に引退した鉄道郵便車「オユ10形」(全国に3台しか現存しない)が鎮座。車内には現役当時の写真も。当時は駅で郵便物をあずかると次の駅に着くまでに車内で消印・仕付けの作業をしたのだそう。市民も見学可能。

敷地にあるグラウンド・テニスコートは、予約すれば市民も使用できる。(無料) お問合わせは、研修支援係042-573-6819まで。

## YOSHIE

ベリーダンサー



Photo by Hanta Arita

エジプトやトルコなどイスラム圏の踊りとして名高いベリーダンス。幼い頃からのクラシックバレエを基礎に、YOSHIEさんがベリーダンスに出会ったのは10代後半。その深い精神性と神秘性に魅せられて国内外の有名ダンサーに師事し、今では映画や舞台、イベントや音楽家とのコラボなど、幅広いシーンで活躍中だ。「ベリーダンスは、体の重心を意識して丸や8の字を描くようにおなかを中心に動かすのですが、その動きにはつながり、つまり連続と続く生命への礼賛と祈りが込められています。踊りながら自分自身を解放して、女性を美しく輝かせるダンスなのです」なるほど、ひとつひとつの筋肉の驚くほど柔軟な動き、指先までしなやかなYOSHIEさんのダンスは、見ているだけでもこちらが自由で幸福な気持ちに満たされていく。そしてそんなYOSHIEさんを目標に、健康な美しさを願って教室に通う女性たちが続々。「ふだん使わない筋肉を動かすのではじめはコチコチでしたが、半年、1年と続けるうちに体が柔らかくなってきました」と生徒さんの1人。ベリーダンス、意外に身近な健康法なのだ。

### Lesson info

●STUDIO 凜(りん) 毎週水曜20:30~22:00  
国立市富士見台3-4-1[TEL&FAX] 042-575-3833  
[電話受付]月~土10:00~22:00  
[E-mail] yuzukaoru\_studio\_rin@yahoo.co.jp P5-6/MAP6

●スタジオ ブエノ/Bueno! 毎週月曜19:30~20:45  
国立市東1-6-20小貝ビル3F[TEL&FAX] 042-519-8433  
[OPEN] 10:30~23:00 (電話受付12~22時まで)  
[定休日] 火曜(年数回長期休業)  
[E-mail] bueno@aklatinlife.com P5-6/MAP7



(左)まずはストレッチから。基本は裸足、動きやすい服装で。(右)ボールをつかった動き (スタジオ凜にて)

## 大竹 雄介 (おたけ ゆうすけ)

イラストレーター



武蔵野美術大学卒業後の1964年、日本の広告界の先端だった「日本デザインセンター」に入社、田中一光、原弘、山城隆一氏など先輩に出版・広告デザインを学び、その後、横浜からソ連客船に乗ってシベリア経由でヨーロッパを貧乏旅行。帰国後、フリーランスとなりイラストや書籍の装丁を手がけながら桑沢デザイン研究所で長く講師もつとめた。WEB時代のアーティスト志望の若者には「とにかく本物を見る」ことを強く勧める。現在はフリージャーナリストの松尾秀助氏との酔いどれコンビで『週刊文春』に「大衆酒場酔考譚」連載中。東京イラストレーターズソサエティ(TIS)会員。国立在住36年。「当時はまさに人情があつたけど、近頃は店主の個性の見えるカフェが少なくなったのが残念」

## 廣原 武美 (ひろはら たけみ)

津軽三味線奏者 P5-6/MAP3



撥(ばち)で「叩き」、弦を「押さえ」、左手の指で「かませ」る。極寒の青森で生まれた津軽三味線は、雷のように激しい演奏の中に、冬の厳しさや哀愁を表す。廣原武美さんは2002年の全国津軽三味線コンクール大阪大会大賞の部で初代優勝を飾るほか、『ソーラン節』の伊藤多喜雄さんのTAKIO BANDのメンバーとして活躍中。またモスクワ、ドイツ、ニューヨークなど、10カ国の海外演奏も行う。新譜CDが11月発売予定。インフォメーションはHPへ。

### Lesson info

●廣原会 津軽三味線教室・谷保  
月2回(火曜)40分個人稽古  
「初心者も既習者も、基本を大事に教えます」(廣原さん)  
富士見台一丁目集会所[TEL]090-8807-1905(担当:鳴海)  
http://www.015.up.so-net.ne.jp/hirohara/

## 丸山 清人 (まるやま きよと)

銭湯背景絵師 P5-6/MAP4,5



銭湯の背景を描いて50年、今や都内に二人しかいない背景絵師の1人は国立在住である。表紙の「松の湯」や旭通りの「鳩の湯」を手がけたのも、もちろんこの人。7色の絵の具だけを使い、グラデーション技術を駆使して、たった1日で仕上げてしまう。その図柄は、さまざまな富士山の風景をはじめ、芦ノ湖、北海道の湖など数十種類。銭湯の数は年々減り続けるが、最近では老人福祉施設のお風呂場に描いてほしいという注文も舞い込むそうだ。この4月にははくら通りの「アートスクエア櫻文堂」で、ミニチュア版背景画の個展も開いた。どれもオリジナルの一点もの。我が家の風呂場の壁に気軽に貼れる「富士山」、一日の疲れを癒してくれるかも。 [問]042-573-1852(丸山)

ピックアップ ● 国立ゆかりのアーティスト その3

(敬称略)

# 秋の記念日 カレンダー

秋立ちぬ 風立ちぬ…。

おいしい、楽しい、くにたち散歩道。

さあ、今日はなんの日？

## 10/20 Wed リサイクルの日 MAP・9



国立市中1-16-75 ピースポート105  
[TEL] 042-572-0076  
[OPEN] 11:00~18:00  
[定休日] 日曜

●リサイクル&アートスペース あま〜れ  
10月20日は「ひとまわり(10)、ふたまわり(20)」でリサイクルの日。あま〜れは、リサイクルショップという言葉が想像していくと、その予想を完全に覆される。未使用品も多いので、1点物のプチックでお買い物する雰囲気。  
洋服のほか、作家ものの陶器からアンティークのアクセサリーまでが手の届く値段で。オーナーの大場さんのコーディネートアドバイスで、おしゃれ度もアップ。

## Owner's Face・・・大場佳子さん



子育てが一段落した14年前。大場さんは「お買い物をする女性、働く女性、作品を売りたい女性。そんな人たちの場所をつくりたい」と思い立つ。あま〜れはセレクトショップだが、お客さまがお客さまを、作家が作家を呼んだ。「器や古布の洋服、人形など作家ものは『ごういすお店があるよ。作品を置いてみたら？』と、人づてに手づかみで集まってきたもの」と大場さん。アート感あふれる店内は、大場さんの雰囲気は惹きつけられた品々がつくりだしているのだ。

## 11/7 Sun 鍋の日 MAP・10



国立市中1-16-72 メラージュ富士2F  
[TEL] 042-573-5957  
[OPEN] 11:30~14:00(L.O.13:30)、17:00~23:00(L.O.22:00)  
[定休日] 水曜

●韓国家庭料理 たんぽぽ  
韓国の女性は肌がきれい。「日頃からニンニクを食べる習慣があるので、身体の中から健康に、きれいになる」と言うオーナーの朴マリアさんも、美肌の持ち主。お母さんに教わったままの味を日本に持ってきた「ブデ鍋」(2,900円)は、何時間も煮込んだ牛テールスープに、野菜とニンニクをたっぷり。お肌によくて、身体もポカポカ。11月(いい)7日(なべ)の日は、冬のはじまり、立冬でもある。

## 12/8 Wed ジョンレノン命日 MAP・15



東京都国立市富士見台4-10-8  
[TEL] 042-573-4662  
[OPEN] 11:00~19:30  
[定休日] 火曜

### ● 玲音香琲

赤坂店長がビートルズの大ファンで「玲音(レノン)香琲」という名前に。「コーヒーは毎日飲むものだからこそ、気軽に良いものを楽しんでもらいたい」。ビートルズグッズが並ぶ店内では、焙煎機で生豆を毎日焙煎しており、常に新鮮。香り・味の違いに驚く人も多し。ネット販売もしているので、ぜひ一度お試しを。

<http://www.lennon-coffee.com/>  
YAHOO!店は<http://store.shopping.yahoo.co.jp/lennonclub/>

## 11/26 Fri いい風呂の日 MAP・5



国立市東 2-8-19  
[TEL] 042-572-0918  
[OPEN] 15:00~24:00  
[定休日] 月曜

### ● 鳩の湯

昭和の懐かしい雰囲気を感じられるレトロな銭湯。この富士山も丸山清人さんの筆によるもの。水はミネラルが豊富な地下水を使用しており、サウナや水風呂もある。毎週土日には薬湯、毎月26日(風呂の日)にはヤクルトの無料配布や入浴剤風呂とイベントも多い。もちろんお風呂を出たあとにはコーヒー牛乳もあり! 大人450円(サウナは別途200円)。秋の夜長に、広い浴槽でゆっくりとお風呂を楽しんではいかが?

## 11/23 tue 外食の日 MAP・14



国立市中1-7-91 MIOHNA国立1・2F  
[TEL] 042-505-5826  
[OPEN] 11:30~15:30(L.O.15:00)  
17:00~24:00(L.O.23:00)  
[定休日] 火曜

### ● オルトラーナ

いつも忙しい家庭の主婦に家事を忘れてもらおう、と勤労感謝の日にあわせた外食の日。6月オープンしたのオルトラーナは1階7席、2階26席で家族での外食にも、仲間とのパーティにもぴったり。そんなオルトラーナの秋イチオシが「秋刀魚とディルのフレッシュトマトソースパゲティ」(1,365円)。薫製をかけて香りを増した秋刀魚に、ディルの清涼感がマッチ。秋味を満喫できることうけあい。

### 国立散歩記 みどころ MAP

イラスト・ひらまつきわ

11/7 あられ、せんべいの日  
青木屋  
栗丸ごとまんじゅう「栗まつり」190円などの和菓子店の「手焼き煎餅」315円や「おかき」160円をどうぞ

10/31 日本茶の日  
時田園  
工程はひと手間かけず爽やかな香りの日本茶「くにたち てくてく」1,575円(100g)は時田園オリジナル!

11/7 あられ、せんべいの日  
青木屋

11/15 きものライフすみや

11/20 ピッツェット

● 公園 ● 郵便局

1 P1-2 くにたち結び  
1 P3-4 アーティスト 東へ西へ  
1 P5-6 みどころ MAP  
1 P7 Kunitachi Times

● 読者プレゼントあり

## 11/12 Fri 洋服記念日 MAP・11



国立市東1-15-33ヒロセビル2F  
[TEL] 042-572-0055  
[OPEN] 10:00~19:30  
[定休日] 水曜、木曜

### ● ヒロセオーダー

ヒロセオーダーは創業40年以上の老舗仕立屋。「オーダーメイドは数居が高くない。気軽にお越しいただきたいです。顔と体形に合うスーツはカッコいいのはもちろん疲れにくい」というオーナーの廣瀬さん。遠方から毎年来店する人や創業当初からのお客さまも多い。レギュラーオーダー29,800円〜。「学生さんにもぜひ利用してほしい。オーダーメイドを通して、着こなしの基本をお伝えできます」。

## 11/15 mon きものの日 MAP・12



国立市富士見台1-26-26  
[TEL] 042-575-3346  
[OPEN] 10:00~19:00  
[定休日] 水曜

### ● きものライフすみや

七五三の日に、家族揃って着物で出かけて欲しいとの願いから生まれた、きもの日。「呉服のコンビニだよ」と店主の井上さんが言うすみやは、数居の高さを感じない呉服屋さん。着物は勿論のこと、下着から紐まで何でも揃うので、ふと困ったら足を運んでみるのが吉。着つけ(チケット制で1回1,000円。希望通りに時間設定)以外にも、お手入れ方法から寸法直しまで、何でも相談に応じてくれる。

## 11/20 sat ピザの日 MAP・13



国立市中1-10-30 石川ビル1F  
[TEL] 042-576-3224  
[OPEN] 11:30~14:30(L.O.14:00)  
17:30~22:30(L.O.21:30)  
[定休日] 水曜

### ● ピッツェット

日本人には馴染みの深いピザマルゲリータ。この名の元になったマルゲリータ女王の誕生日が由来のピザの日。秋のピッツェットオススメはボルチーニ茸のピザ(1,900円)。キノコのうまみと香りがやみつきに。国立ではココだけの自慢の薪釜でバリバリ&ふっくらに焼き上げる種類豊富なナポリ風ピザは絶品!一枚まるまる耳までかじりつきたい。木のぬくもりあふれる店内であれこれ選べる幸せを味わってみては?

# Kunitachi Times

Autumn 2010/vol.3  
Kunitachi Aruki  
Special News in Kunitachi

P05/MAP16

## 兼松講堂レジデントオーケストラ 「国立シンフォニカー」 初公演

「隠れた名ホール」と海外演奏家からも評価  
が高い一橋大学兼松講堂に、レジデント  
オーケストラ「国立シンフォニカー」誕生



国立シンフォニカーの指揮者・宮城敬雄さんは、レニングラード国立歌劇劇場管弦楽団、スーパーワールドオーケストラなども指揮

レジデントオーケストラとは、一つ所を拠点にして練習・演奏会を行う管弦楽団のこと。国立シンフォニカーの代表兼常任指揮者の宮城敬雄(ゆきお)さんは、一橋大学商学部OB。オーボエ奏者として在学中からオーケストラ活動を行ってきましたが、経営者として軌道に乗り始めた50歳のとき「はじめるなら今しかない」とかねてから夢だった指揮者を志し、白



今年で創立135周年、国立市に移転して80周年を迎える一橋大学。

川和治氏、クルト・レーデル氏ほかには師事。以後、ミュンヘン・フィル交響楽団をはじめとする世界のオーケストラを指揮してきた異色の存在です。

【会期】10月24日(日) 14:00~(開場13:15)  
【プログラム】ブ람ス「大学祝典」序曲 op.80/シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 op.54/ブ람ス交響曲第1番 ハ短調 op.68  
【チケット】<P席>6,500円/<S席>4,500円/<A席>3,000円/<B席>2,000円(未就学児は入場不可)  
【販売】高輪プリントヒェンガルテン 03-3443-1521/チケットぴあ0570-02-9999/電子チケットぴあ <http://t.pia.jp/>(Pコード:109-217)/一橋大学生協同組合(西ショップ)042-575-4184/白十字南口店 042-572-0416/国立楽器国立店 042-573-1111

P05/MAP・17

## 「ミツバチがつなぐ夢」連続講座

まちかど教室@KFまちかどホール

花から花へ飛びまわり、植物の授粉をし、人間にはハチミツも提供してくれる素晴らしい働き者、ミツバチ。7月から始まった連続講座では、ミツバチの生態や国立周辺の蜜源について学んできました。花いっぱい美しいまちづくりを目指し、いずれは国立産ハチミツの収穫も視野にいれての、ワクワク講座。皆様のご参加をお待ちしています。

●第4回 10月16日(土) 13:30-15:00  
「くにたち養蜂家の農場にて」  
講師：くにたち花と蜜蜂の会  
代表 佐伯 有行 氏  
●第5回 11月20日(土) 13:30-15:30  
「一日ハチミツ ソムリエ体験」  
(さまざまなハチミツのテイスティング)  
講師：永田唯氏/はちみつ専門店  
「ラベイユ」(荻窪)



●第6回 12月18日(土) 13:30-15:00  
「みつろうキャンドルづくり」

講師：akarizm カトウチナツ氏  
(キャンドル作家)

※2011年2月まで毎月1回予定。  
市報もご覧ください。

※定員25名/参加費500円+材料費のある回は実費

【予約・問い合わせ】  
平日13:00~17:00  
[TEL]042-573-1141(KFセンター)  
[e-mail] machi.info@gmail.com

KFまちかど教室  
国立市富士見台1-7富士見台団地1階  
(運営:NPO法人KF人間環境キーステーション)

P05/MAP・17

## 地域の花々が蜜源。 国立産のハチミツ。

『国立歩記』10号で紹介したように、地元ではすでに数名の方がミツバチの養蜂に挑戦中。「ある日、ひと箱がごっそりだめになるなどリスクもありますが、ミツバチが一生涯懸命働いているのが可愛くて」とは養蜂家の主婦の声。菜の花、ニセアカシア、みかん、ひまわりなどを蜜源として、やさしい甘さが広がる国立産のピュアなハチミツ、「とれたの」(電話042-573-3444)で販売中です。130グラム800円程度~。



P05/MAP19

## くにたちコミュニティ ビジネスシンポジウム

10/23(sat)  
@商協さくらホール

街の元気は市民の手でつくっていく——そのプロデュース力を学べるシンポジウムです。ちょっとした勇気で大きな変化!そんな事例をたくさんご用意して、みなさまのお越しをお待ちしています。くにたちで始めよう! あなたにもできるコミュニティビジネス。

【時間】13:00~16:00  
【費用】参加無料・入退場自由。  
16:00より懇親会(1,000円)  
【申し込み】cb-shien@kunitachi.tv  
もしくはFAX042-505-5040まで  
【プログラム】  
●基調講演:後藤健氏(場所文化機構代表・内閣府認定地域活性化伝道師)  
[Uターンでチャレンジ!]  
あなたの元気がまちを動かす  
●事例報告1:小川真澄氏「学生でもできる!一橋生が展開する年商3,000万円のコミュニティビジネス」  
●事例報告2:「普通の主婦が養蜂家にな?国立・ミツバチがつなぐ夢」  
●パネルディスカッション  
【主催】くにたちコミュニティビジネスシンポジウム実行委員会  
【後援】国立市、多摩信用金庫ほか

P05/MAP18

## 大学通り秋の 同時開催三大祭り

11/5(fri)・6(sat)・7(sun)  
@大学通り・一橋大学

毎年11月の国立のお祭りは、45周年を迎える商業祭「天下市」、閑静なキャンパスが大賑わいの「一橋祭」、市民がつくる「秋の市民まつり」が同時開催(秋の市民まつりは7日のみ)。3日間で約20万人が来場するビッグイベント。イチョウなどの紅葉も楽しめる会場です。



(写真撮影:くにたち一芸塾写真クラブ)

●天下市 (主催:天下市実行委員会)  
<http://www.kuni-js.com/tenka>  
【問い合わせ】042-575-1000  
●一橋祭 (主催:一橋祭運営委員会)  
<http://www.ikyosai.com/>  
【問い合わせ】042-577-0380  
●秋の市民まつり (主催:秋の市民まつり実行委員会)【問い合わせ】042-576-2111(市役所産業振興課)

P05/MAP16

## 今年も国立にパワー ジャズが帰ってくる!

11/28(sun)  
@一橋大学内 兼松講堂

メインステージの兼松講堂には日本のジャズシーンを代表するアーティストたちが集結。力溢れる演奏に興奮すること間違いなし! 4年目となる今年にはさらに内容盛りだくさん。市内各所では無料ジャズライブやアートパフォーマンスが行われます。特設カフェやチケット提示での市内飲食店割引など、飲食サービスも充実。国立の街がジャズ一色に染まる——その瞬間をご一緒に!

【時間】メインステージ:  
14:00~19:30(13:30開場)  
【出演者】中村達也、板橋文夫、梅津和時ほか  
【場所】一橋大学内兼松講堂  
【チケット】  
<一般>4,000円(前売3,500円)  
<学生>3,500円(前売2,500円)  
ローソンチケット、Eplus、国立市内店舗で取り扱い中  
【主催】一橋大学学生サークル MusiA  
【ホームページ】  
<http://powerjazz2010.web.fc2.com/>

## 救命に備えて 無料で受けられる AED・心肺蘇生法

記事協力:国立市防災課

商店主や一般市民が団員になって結成している消防団は現在123名。うち6名が女性団員ですが、そのうち2名が7月に応急手当普及員になりました(今後6名全員が取得予定)。心肺蘇生法やAED使用法など応急手当について指導できる資格です。自治会などで普通救命講習会を開く際、無料で指導をすることが可能です(修了証は発行できません)。お申し込みは市役所防災課まで。

## 国立歩記 安全・安心 Column



2月に賞味期限を迎えるアルファ米をプレゼント!  
自治会の訓練時などにお使いください。  
詳しくは市役所防災課まで(042-576-2111)。

## 火災に備えて 住宅防火いのちを守る 7つのポイント

記事協力:立川消防署

立川消防署では防火の心構えとして、3つの習慣、4つの対策を呼びかけています。つまり「寝たばこしない」「ストーブの近くに燃えやすいものを置かない」「ガスコンロから離れるときは火を消す」(3つの習慣)。「住宅用火災警報器」「防災仕様の寝具、衣類、カーテン」「消火器などの準備」「隣近所で協力体制をつくる」(4つの対策)。冬の火災に備えましょう。



一皿に込めた  
笑顔をお届けする、  
匠。  
兼川 彌内シェフ

日本人として、和食からもイタリアンへの  
ヒントを得るといふ兼川シェフ。おいしい  
お料理と楽しい空間作り、そんな当たり前  
の積み重ねで今日も笑顔をお届けします。

様々な味わいが広がる日本の秋。本格  
イタリアンのカルメンからそんな和の  
テイストを活かした一皿のご提案です。  
「焼き茄子とマスケットのマリネ」は、  
コース料理のトップバッターとしてあっ  
さりとしたダシを効かせた秋味。乾杯  
のボージョレにもぴったりで、次のお皿  
が待ち遠しくなりそう。



国立せきやビルB1F ☎042-501-9245  
トラットリア・カルメン

舌で感じる、  
味を  
楽しむ



幸せを  
ポトルに  
つめる、匠。  
（生産者）ドメーヌ・  
フィリップ・パリス

フランスブルゴーニュ地方・ボージョレ地  
区クワンセ村の生産者、フィリップ・パ  
リスさん。ミネラルの多い花崗岩の土壌で  
育ったブドウを手摘みによって収穫し、低  
温で全房発酵させる伝統的な「マセラシ  
オン・カルボニック醸造法」。

## くにたちボージョレ・ ヌーヴォー2010

今年もフランスから届く逸品、  
くにたちオリジナルラベル。ご予約受付中。

「ほんとに美味しかった!」「フルーティで幸せな気分  
になる」と大好評だった昨年の「くにたちボージョ  
レ」。今年もいよいよ予約がスタートします。兼松講  
堂のオリジナルラベルも4年目になり、毎年その絵  
柄を楽しみにしている方も多いはず。せきやと一橋  
大学生の連携による地域限定販売1,200本。  
ご予約はお早めに。

鼻で感じる、  
香りに  
酔いしれる。



### せきや創業100周年ヌーヴォー祭

日時 : 11月18日(木) 18:30-20:30  
場所 : せきやB1噴水広場 貸切・定員100名  
参加費 : 前売り3000円(当日3500円)



ボージョレ・ヌーヴォー  
音楽+料理  
協賛 : カルメン  
フォムファス  
※素敵な賞品の  
当たる抽選会もあります。

ボージョレ・ヌーヴォーはボージョレ  
地区で収穫されたブドウ「ガメイ種」  
から50日あまりの短期間でつくられる  
新酒の赤ワイン。タンニンが少なめ  
で、少し冷やしたほうが独特の爽やか  
な香りがきわだつものが多いのです。  
今年の解禁日は11月18日(木)。  
さあ、待ちに待ったその香りを存分に  
お楽しみください。



ご予約/お申込は...

株式会社せきや/国立市中1-9-30  
[TEL]042-571-0001  
[OPEN]10:00~21:30(1F)  
11:00~20:00(B1F)

C'est la Vie  
SAKE-BOUTIQUE  
SEKIYA  
Depuis 1910 おかげさまで100周年



●くにたちオリジナルラベル

芸術祭「SO-ZO国立2007」をきっかけに、音  
楽と芸術で地域の活性化をめざす一橋大学の  
学生サークル「Musia」と(株)せきやとの連携  
が始まりました。2010年も沢辺満智子さん(大  
学院社会学研究科2年)が描く、芸術のシンボル  
「一橋大学兼松講堂」がオリジナルラベルに。

★限定1,200本  
店頭ご予約価格 2,380円(税込)  
※上記価格は11/12(金)まで  
希望小売価格 3,500円(税込)

SEKIYA PRESENTS

この街で、あふれる感性を身にまとう

## 秋のKunitachiアートフェス

見て、触れて、味わって。秋は「五官」が冴え、心おどる季節。  
「五官」とは眼・耳・舌・鼻・身のこと。ここから湧き上がる色合いや香り、味わいを五感と呼びます。  
秋の国立には参加が楽しい身近なアートがたくさん。  
さあ、五官で感じる、五感を楽しむ、わたしたちのアート体験にでかけよう。



パンに練りこむ  
情熱を  
焼き上げる、匠。  
竹内 勉シェフ

「パンもいきもの。釜入れはまさに命を吹  
き込む瞬間です!」パンプーの芸術的なパ  
ンは、毎日6時間にわたる仕込とシェフの  
情熱をうけ生まれる。おいしいはずだ。

パンプーのパンはすべてが手づくり。だ  
から1つ1つに個性豊かな表情があり  
ます。そんな中からさくさくナッツがひ  
ときわ眼をひく、新作「ラフォレ」をこ  
紹介。山積みの5種類のナッツが見た  
目にも楽しいクロワッサン。口に運べば、  
次々に押し寄せる食感と、木の実の風  
味がやみつきに。



眼で感じる、  
カタチを  
味わう



国立市中1-8-13 ☎042-577-5168  
ブーランジェリーカフェ・バンブー



音楽で、  
喜び伝える、  
匠。  
中嶋 めぐみ先生

「少しの勇気で始めの一步。憧れを叶えま  
しょう!」フルートは安価な楽器ではありま  
せんが、1対1のレッスンでゆっくり、自分  
のペースで楽しんでほしい。

澄んだ音色だけでなく、ジャンルや年齢  
を問わず自分の好きな曲を楽しめるの  
もフルートという楽器の魅力のひとつ。  
レッスンには70歳からスタートしたおじ  
さまの姿も。きらり輝く横笛を優雅に  
構え、美しい音色を奏でる。この秋、国  
立音楽センターで、そんなアートな世  
界に挑戦してみたい?



耳で  
感じる、  
音色に委ねる



国立せきやビル7F ☎042-576-1213  
国立音楽センター



彫刻で  
アートを広める、  
匠。  
吉武 道多先生

「彫刻は360°すべてが作品。試行錯誤のく  
りかえしです」と笑顔で話す吉武先生。彫  
刻家として、仕事として、アートの伝道師と  
なり、今の社会にアートを伝えます。

練る。盛る。削る。石膏はとてつもない  
クツな素材で人それぞれの生な作品が  
生まれます。写真を眺め、お孫さんや  
奥様の顔を造る生徒さんの姿は真剣そ  
のもの。それでも大事な人を想い、笑顔  
こぼれる豊かな時間が流れます。隔週  
金曜日の吉武先生のクラスは、芸術に  
触れるアートフライデー!



身で  
感じる、  
感性を育む



国立せきやビル6F ☎042-574-0570  
NHK学園 くにたちオープンスクール